



説明を聞く受講生



苗植えの様子



受講生の皆さん



## 女性大学第1回講座

### 「プランターでパプリカ栽培」開催



**JA** は15日、16日の2日間、宇都宮市戸祭元町のJAうつのみや本所で女性大学第1回講座「プランターでパプリカ栽培」を開催しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため2日間に分けて行いました。

講座では同JA園芸課栃木博美技術顧問らが講師を務めました。受講生はパプリカの特徴や栽培方法について説明を受けた後、講師にポイントを聞きながら「パプリ娘オレソング」と「ブルーピーエロー」という品種の苗をプランターに植えました。受講生は植えたパプリカの苗を持ち帰り、講座で学んだ栽培方法を実践します。

受講生の近藤理恵さんは「コロナ禍でおうち時間が増えたので参加しました。収穫が楽しみです」と話しました。第2回講座「SDGs教室」は9月28日、30日に開催予定です。

# 令和3年度事業運営委員意見交換会



あいさつする横松久夫組合長



あいさつする佐藤俊伸専務

J Aは7月14日から27日にかけて、令和3年度事業運営委員意見交換会を各支所、営農経済センター8会場で開き113人が出席しました。各地区の代表者である事業運営委員からJ Aの事業についての意見・要望を受け、地域に根差した事業を行うことを目的にしています。

J Aの担当者は、J A独自の自己改革の実践について、「希望の持てる農業・地域住民の快適な暮らしづくりに貢献する」を基本方針として、多様な組合員の声に応え、願いを実現していくため、農業生産拡大をはじめとした「創造的自己改革」に取り組んでいることを説明しました。

事業運営委員からは、各地区や生産者が抱えるJ Aの事業や取り組みに対する意見や要望が出ました。

J Aは意見交換会で出された意見や要望を各部署、事業所で共有するとともに今後の事業計画などに反映させていただきます。

## 令和3年度事業運営委員会の各地区テーマ

営経センター	開催日	テーマ
北部	7月14日	北部地域の課題とJ Aに求めること
西部	7月16日	J Aが取り組むべき課題について
南部	7月21日	農業振興・地域活性化に向けて南部地区が取り組むべき課題について
東部	7月20日	これからのJ Aに期待すること
上河内	7月15日	上河内地区で抱える問題、J Aとともに解決していく課題について
河内	7月27日	①露地野菜地産地消への取り組みについて（少量多品目栽培） ②解決しなければならない地域の課題（高齢化に伴う担い手負担軽減）
南河内	7月26日	地域の活性化（農業振興）の取り組みについて
上三川	7月16日	①組合員の皆さまに信頼されるJ A（センター・支所）にするために必要なこと ②地域の活性化に向けた取り組みと課題について

# 地域に根差した事業を

東部地区の同意見交換会



河内地区の同意見交換会



## 『自己改革の実践』令和2年度実績の主な報告事例

### 1. 「営農振興・担い手育成積立金」の活用による生産者支援

【支援金額】総額 約3,110万円 支援対象者 70人

### 2. フードバンクや子ども食堂への支援

- ◇フードバンクうつのみやには、社会貢献および食品ロス削減のため、法人会員として入会（活動費の支援）し、役員や職員有志による米約150kgや段ボール4箱分の食料品を提供。
- ◇昭和子ども食堂には、食糧を通じ地域の将来を担う子どもたちの育成に取り組むために、支援金や管内農産物（梨）、子ども向けの食育雑誌「ちゃぐりん」を提供しました。
- ◇新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な状況のもと続けていた同食堂に対し、3～4月中はイチゴ・アスパラガス・トマト・ニラなどを毎週提供しました。

### 3. 見守り活動、災害時の物資支援

- ◇渉外活動を通じた子ども・高齢者などの見守り活動を実施しています。
- ◇新型コロナウイルス防護服の製作用に農業用ビニールシート（マルチ）を宇都宮市に提供しました。  
※管内市町との包括連携協定締結
  - ①宇都宮市（平成30年11月締結）
  - ②下野市（令和2年11月締結）
  - ③上三川町（令和2年12月締結）

### 4. 組合員との対話運動（組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立）

- ◇各地区の農業振興・地域活性化を図るため、組合員の地域独自の意見・要望を話し合う、事業運営委員意見交換会を実施しました。

意見を述べる参加者



南部地区の同意見交換会



## 適正時期には種を JAがニンジン栽培講習会



北部営農経済センターで行われた加工用ニンジン栽培講習会

JAは6月14日、「令和3年産加工用ニンジン栽培講習会」を宇都宮市新里町の北部営農経済センターで開催しました。生産者、県、全農とちぎ、JAの担当者15人が参加しました。密を避けるために、1テーブルに1人だけ座るように配慮して行われました。

JAの担当者が2020年産栽培の販売実績と反省点を報告。2021年産は、10アール当たり3ト、出荷数量約29ト、販売金額1158万円を目標にしています。

カゴメの担当者が「令和3年度加工ニンジン栽培暦」を参考にしながら、栽培スケジュールや病害虫雑草防除基準、栽培の留意点を説明しました。「は種作業の適正時期」「発芽率向上にかかわる栽培管理方法」「発芽後の圃場管理」を確認しました。



## ハウス栽培「幸水」出荷始まる 梨専門部

JAは6月18日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場でハウス栽培による幸水の初出荷を行いました。今年は昨年よりやや早い出荷となりました。

この日はハウス梨研究会の鈴木隆弘会長（44）と山口幸夫さん（55）が栽培したナシ計300箱を出荷しました。JA職員がナシの形や傷などを確認し、丁寧に選別。糖度や熟度、大きさをセンサーで測定し、箱に詰めていきました。ナシは東京都大田市場に出荷されました。

鈴木会長は「おいしく良い物ができた。先陣を切っただけの出荷なので、しっかり行っていきたい」と意気込みを語りました。山口さんは「今年の生育は順調。糖度があり出来もいい」と語りました。天候不順の影響もあり昨年の出荷量は約2600トでしたが、今シーズンは約3000トを見込んでいます。ハウス栽培の幸水は7月中旬まで出荷が続きました。



初出荷される幸水の確認を行うJA職員



## 夏の出荷に向けアスパラ目ぞろえ会・中間検討会開催 グリーンアスパラガス専門部



目ぞろえを行う部員ら

グリーンアスパラガス専門部は6月25日、宇都宮市砂田町の宇都宮南部営農経済センターで目ぞろえ会・中間検討会を開きました。部員や関係機関の担当者ら33人が参加しました。田崎昌男専門部長は「8月にかけてアスパラの出荷量が増えてくる。現物をしっかりと確認してほしい」とあいさつしました。

今回は令和3年産アスパラガスの中間販売経過やそれを受けた今後の対策などを協議。本年度は天候不順や新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、栽培、販売ともに厳しい状況であったことを説明しました。品質維持や量販店での販売強化など、今後も対策を行っていくことを確認しました。目ぞろえ会では現物を使って出荷規格を確認し、出荷に備えました。

## 令和2年度JA自動車共済損害調査サービスで感謝状贈呈式

8



贈呈式後記念撮影を行った関係者

JA 共済連栃木は7月13日、宇都宮市戸祭元町のJA本所で令和2年度JA自動車共済損害調査サービスにかかる感謝状贈呈式を行いました。JAの横松久夫組合長は「皆さんの日々の努力による結果だと思っている。本日は誠にありがとうございます」とあいさつしました。

この感謝状は、自動車事故等により自動車共済を利用いただいた契約者から、総合満足度において極めて高い評価を得た全国上位のJAに対して贈呈されるもので、JAは本年度で6年連続の受賞となりました。贈呈式では横松組合長がJA共済連栃木の田村登志郎本部長から感謝状を受け取りました。令和2年度の共済事業についての経過報告では、JAの取り組みが昨年度を上回る結果となっていることが報告されました。

## 順調な生育で8月より収穫・販売 ぶどう専門部現地検討会

2



12



ぶどう専門部は7月9日、宇都宮市姿川の圃場でブドウの現地検討会を開催し、部員や県職員など約20人が参加しました。

専門部長の田崎仁さんは「コロナ禍ではあるが昨年の売り上げは例年並みだった。来月から収穫、販売が始まるので、消毒薬設置、マスク着用で行ってほしい」とあいさつしました。2カ所の圃場でハウス内のブドウの生育状況を調べ、春先に気温が高かったため生育が早まっていることを確認しました。また、べと病などの病虫害対応策について意見を交換しました。県河内農業振興事務所の担当者は「着色期から収穫期に向けてかん水が大事です。極端な気温・湿度の変化で裂果などを招くため、大型扇風機を利用するなどして管理に気を付けてほしい」と総括しました。既に着色が始まっている品種もあり、8月の収穫、販売に向けて生育は上々でした。



巨峰の下であいさつをする田崎専門部長

## 昭和子ども食堂にスイカ5個贈る 青壮年部

1



2



4



12



スイカを贈呈する黒崎部長(左)

青壮年部は7月21日、スイカ5個を宇都宮市戸祭4丁目の昭和子ども食堂に贈りました。昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、食事に困っている人が増加しています。そのような困窮者への食堂の運営および宅配を実施している昭和子ども食堂に対し、昨年からの同青壮年部盟友が作った農畜産物を提供しており、6月中旬にも提供を行っています。今回は、同子ども食堂に通う小中学生が夏休みに入り、地域の食材を使って県内でキャンプを行うために、盟友が作ったスイカを贈呈し、地域貢献を図りました。

同青壮年部の黒崎浩史部長は「これからも定期的に支援していきたい。必要な物があれば遠慮なく申し出てほしい」と呼び掛けました。同子ども食堂の施設管理者の荻野友香里さんは「子どもたちはキャンプを楽しみにしている。おいしいスイカを食べることで、夏の思い出ができる」と喜んでいます。



交通安全について学んだ交通安全教室



スタントマンが交通事故現場を再現する交通安全教室（7月3日）

JA共済連栃木主催による交通安全教室が宇都宮短期大学附属高で開かれました。生徒や教職員約350人が交通事故の恐ろしさを学びました。同教室では「スケアード・ストレイト」と呼ばれる手法で交通事故を再現。スタントマンが傘差し運転やスマートフォンを操作しながらの「ながら運転」による前方不注意やトラックの左折時に巻き込まれる事故などを再現しました。



アグリスクール「田んぼの生き物調査」（7月22日）

JAは宇都宮市上欠町の圃場でアグリスクール「田んぼの生き物調査」を開催。参加者は田んぼで絶滅危惧種である水生昆虫のタガメやガムシなどを捕まえました。



田んぼの生き物を捕まえた参加者



青壮年部が大学生・青年への食糧支援「もってけ市」へ物資提供（7月20日）

青壮年部吉田昌史副部長が、盟友たちからの好意で提供された乾麺、タマネギ、洗剤等の物資をJA栃木青年部連盟に手渡しました。「もってけ市」を通して、コロナ禍で生活に困窮する若者たちを支援します。



さまざまな物資で支援する青壮年部



「みんなのよい食プロジェクト」PR（7月14日）  
JAグリーンインターパークなど4カ所で3食ごはんの日ののぼり旗を立て、笑味ちゃんウェットティッシュを配布しました。



直売所で「3食ごはんの日」をPR



組合員の皆さまからの地域の話や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

## 所得増大と経営の安定を

### 太陽光システム見学



太陽光パネルを設置した圃場を視察するJAの役員ら

**JA**と農林中央金庫宇都宮支店は6月30日、農業をしながら太陽光発電を行う施設「ソーラーシェアリング」の視察を宇都宮市石那田町の圃場で行いました。JAの役職員や同支店の担当者など11人が参加し、農家の所得増大と経営の安定を図り、農業の未来をつくるシステムを学びました。

ソーラーシェアリングは、地上から2m～3.5mの高さに支柱を立て、太陽光パネルを設置するため、トラクターやコンバインなどが稼働できるなど、農作業への影響にも配慮しています。作付に応じて、遮光率30%～70%になるように太陽光パネルを設置し、大豆、キャベツ、コメなどさまざまな農作物を作ることができます。

太陽光発電の売電収入と農作物の販売収入のダブル収入に加え、夏は酷暑や強すぎる日射、急な豪雨から農作物と人を守ります。冬は、霜や雪から農作物を守ります。また再エネ発電により二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を削減し、農作物生産でCO<sub>2</sub>を吸収するため、地球温暖化抑制にも貢献できます。

## 中学生が職業体験

### 宮っ子チャレンジウィーク



**宇**都宮市立豊郷中の社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」が実施され、6月28日から7月2日の5日間、同校2年生の生徒2人が宇都宮市白沢町の河内営農経済センター管内で地元農家での農業体験やJA施設の見学などを行いました。「宮っ子チャレンジウィーク」は中学2年生が学校を離れ、地域の施設や企業等に出向き、さまざまな体験をすることを通じ、共に生きる心や感謝の気持ちを育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つけることを目的としています。

同校の石田侑暉さん(13)と木原愛花さん(13)は30日、同センターの低温倉庫、河内ライスセンター、河内カントリーエレベーターを見学しました。木原さんは「家庭菜園をしていて農業に興味を持った。梱包の袋に1つもコメが入るとは思っていなかったので驚いた」と話しました。



JAの米麦施設を見学する生徒

## JAが県家の光大会で普及優績組合として表彰

### 記事活用体験発表で優秀賞



体験発表をした鶴見さん

**県**家の光大会が7月20日、宇都宮市平出工業団地のJAビルで開催され、JAグループの役職員、女性会会員など関係者約80人が参加しました。本大会は『家の光』普及運動の一環として行われ、同3誌の普及運動に顕著な成績をあげたJAや女性会を表彰し、記事活用の体験発表会を行うものです。

JAは普及優績組合『家の光』の部で県内最上位であるとして、横松久夫組合長が表彰を受けました。横松組合長は「家の光3誌はそれぞれ特徴があるのでぜひ手に取ってもらいたい。記事を読んで視野を広げ、女性会の絆をさらに深めてほしい」と話しました。また体験発表会では、みどり会上三川支部の鶴見利子さんが「『家の光』と仲間と共に」というテーマで発表し、優秀賞を受賞しました。鶴見さんは「緊張したが、いい経験になった」と発表を終えてホッとしていました。

なお、女性組織では新規会員を随時募集しております。ご興味がありましたらお気軽に本所生活福祉課(Tel:028(621)8798)までお問い合わせください。

## 水稲



収穫の秋を迎えました。品質や食味を落さないことを重点に作業を行いましょう。

### 適期刈り取りの励行

刈り遅れは品質低下を招きます。収穫時期が近づいたら、登熟積算温度および帯緑色粉率(籾の色)で収穫時期を判断し、葉色や出穂後の日数などに惑わされないようにしましょう(表1・図1)。

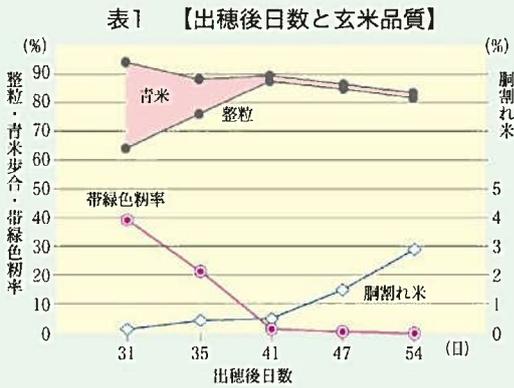
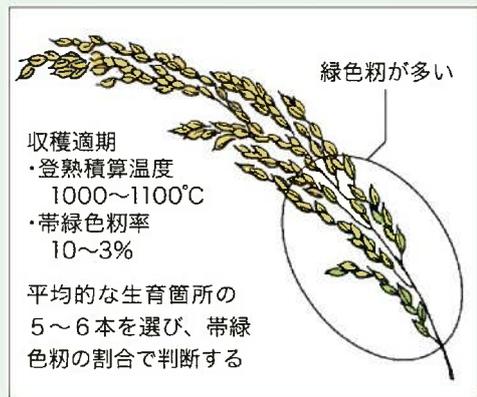


図1 収穫適期の判断の仕方



帯緑色粉率とは、不稔粒を除いた全籾数に対する黄緑色籾の比率で求められます。帯緑色粉率が10%程度になつたら刈り取りを始め、3%程度で刈り終わるのが最適です。

3%以下になると急激に品質が低下するので、大規模に作付けしている場合は、15%になつたら刈り始めることも検討しましょう。

また、収穫作業に伴う収穫物への土や異物の混入および付着を防ぐため、刈り残しがない程度に高刈り(10cm以上)しましょう。

### 乾燥・調製作業

急激な乾燥や過乾燥は外観品質だけでなく食味も低下しますので、販売が不利になります。乾燥・調製の段階

で胴割れ粒を増やさないよう、注意しましょう。

乾燥機は、1時間当たりの乾減率が0.8%以下になるように設定しましょう。また、高水分の籾を乾燥するときは、2~3時間通風乾燥した後、火を入れます。

15:1%以上の高水分米は、カビや肌ずれなどの品質事故を誘発しやすいので、水分計を使って14.5%の適正水分になるように調整しましょう。

籾摺機のローラーは、最初の1回で80~85%剥ける程度に調整します。乾燥直後の温かい籾を摺ると胴割れしやすいので冷えてから行いましょう。

なお、整粒歩合80%以上を確保するために、ライスグレーダーの網目は1.85mm以上を適正に使用し、未熟粒・屑米・異物の除去に努めましょう。

### 異品種および異物の混入防止対策

異品種や異物の混入には、購入者から厳しい目が注がれています。信用を得るためには生産段階から防止対策を徹底する必要があります。

収穫・乾燥・調製などの作業前には、品種が変わるごとに各機械の清掃を徹底しましょう。

混入事故は思わぬところで発生します。作業現場の清掃・整頓を徹底し、作業衣のポケットにも筆記用具やラ

イターなど不用意に入れていないか確認して作業にあたりましょう。

また、近年イネ稲こうじ病が多発しています。農産物検査ではイネ稲こうじは異物として見られ、1粒でも混入が確認されると規格外になりますので注意して籾摺り作業をしましょう。

### イネ縞葉枯病の収穫後の対策

イネ縞葉枯病のウィルスを保毒するヒメトビウンカは再生籾(ひこばえ)やイネ科雑草に寄生し越冬することで個体数を増加させていきます。そのため、収穫後は速やかに耕起と畦畔管理を行いましょう。

## 大豆



### 病害虫防除

栃木県農業環境指導センターによると、今後、吸実性カメムシ類が多く発生する可能性があるとのこと。また紫斑病も昨年に引き続き注意が必要です。降雨等の影響によりは種時期がほ場ごとにバラツキがあるため、病害虫の防除適期を見誤りやすいと考えられます。ほ場ごとに開花期などの生育状況をよく確認し、適期を逃すことのないよう注意しながら、防除対策を徹底しましょう。

## みどり会篠井支部

**み**どり会篠井支部では、昨年にかけてペットボトルキャップ回収を呼び掛けているところです。篠井地区市民センターにも回収箱を常時設置しております。来年まで継続していきますので、体に良いドリンクを飲んでキャップを集め、世界の子どもたちにポリオワクチンを提供できるよう身近な協力をしていきましょう。



ペットボトル  
キャップ回収箱



### 懐かしの研修旅行の集合写真をご紹介します。



2016年7月 埼玉・秩父・長瀬ライン下りにて(支部長 加藤純子)

立ち寄った秩父神社では挙式風景に出くわして、おのの白無垢姿の自分を思い出し、留め袖姿の母を思い涙する味わい深い旅行となりました。



2011年7月 群馬、玉原ラベンダーパークにて(支部長 阿久津節子)

みんなで誘い合って参加したにぎやかな旅行で、しばらくはラベンダーの香りに酔いしれました。



輪投げを楽しんだメンバーたち



メンバーが描いた絵手紙



瑞穂野支部のメンバーたち

## みどり会瑞穂野支部

**私**たち瑞穂野支部では、コロナウイルスの自粛の中で、密を避け、できる活動をすることにしました。年会費の徴収と今後の活動をどのようにするかの話し合いを兼ね、会員に声をかけ5月に楽しい輪投げを実施することができました。

ペットボトルキャップ集めの周知と身近にできるSDGsの取り組みとしてシリコンラップの使用やマイボトルの使用など、また、お寺でいただいた晒を利用してナフキンを作り、子ども食堂にプレゼントすることとしました。

早くコロナウイルスが終息しますように！

ワンプレート レシピ

# One plate recipe

米ナスとカボチャの  
唐揚げ西京みそソース



シェフ永井のおすすめ

### 材料(4人分)

米ナス(皮をピーラーでむき縦に4等分にする).....1個  
カボチャ(蒸して一口大にカット).....1/8個  
モロッコインゲン(ゆでて斜めにカット).....2本  
片栗粉.....適宜  
サラダ油.....適宜

### A・西京みそソース

かつおだし.....1カップ  
西京みそ.....大さじ2  
しょうゆ.....大さじ1  
砂糖.....大さじ1  
みりん.....大さじ1  
おろしショウガ.....小さじ1  
シメジ(ばらした物).....1株

### 作り方

- 1 米ナスとカボチャに片栗粉を薄くはたき、180度に熱したサラダ油で揚げる(米ナスは3~4分ほど、カボチャは30秒ほど)。
- 2 鍋にAの西京みそソースを入れ中火で2/3ほどになるまで煮詰める。
- 3 皿に揚げた米ナスとカボチャを盛り付け、2の西京みそソースを上から回し掛ける。
- 4 モロッコインゲンを飾り出来上がり。

茨城県笠間市にある  
天晴(旧キッチン晴人)  
オーナーシェフ  
ながい ともかず  
永井 智一



## 今月の直売所情報

### JAグリーンインターパーク 9月のお薦め品

この時期のお薦めはやっぱり“梨”です。ご自宅用にももちろんですが、ご贈答用にもご利用ください。地方発送承り中です。



### 南河内グリーンセンター 生産者さん募集中!

詳しくは南河内営農経済センター  
TEL: 0285-48-2215  
営農課 森田・上野まで

### お米の特売日

JAうつのみや お薦めのみやおとめ  
(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク  
直売所 毎月第3日曜日(9/19)



JAグリーンかみかわち  
直売所 毎月8の付く日(9/8, 18, 28)

# 南部営農 経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします!



## 南部営農経済センター店舗紹介



南部営農経済センターのスタッフたち

宇都宮インターパークのすぐそばにある南部営農経済センターは、JAうつのみやの中でもちょうど中間に位置しており、管内は耕種・園芸作物ともにとっても盛んな地域となっています。農家の皆さまの多種多様な要望に応えられるよう、肥料・農薬などの資材の品揃えが豊富な大型店舗も併設しております。

また、これからの時期、秋まきの野菜の種類なども豊富に揃えておりますので、農家の方・家庭菜園をしている方・まだ未経験だけど野菜作りに興味がある方なども、ぜひお気軽にご利用ください。

## 直売所店舗紹介



店頭に並ぶ新鮮な野菜



南部営農経済センター

JAグリーンインターパーク直売所

JAグリーンインターパーク直売所では、地元の生産者が丹精込めて育てた新鮮野菜・果物他いろいろな品物を取り揃えております。また、毎月第3日曜日はお米の特売や季節のイベントを実施しております。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

各種お問い合わせはこちらへ

### 支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内営農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内営農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内営農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川営農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	

- キャッシュカードの紛失・盗難**  
 フリーダイヤル0120-082065
- 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)**  
 事故受付センター フリーダイヤル0120-258931
- JA葬祭(24時間受付)**  
 アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
 アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200  
 アトラス上三川ホール 0285-55-1555
- LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送**  
 フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
 ※緊急連絡先028-633-0085